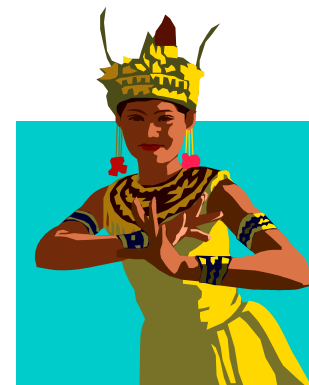




インドネシア進出のための 業種別SWOT分析





自己紹介

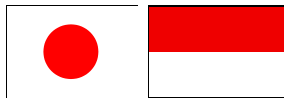


- 1975/4～1998/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援部門配属
- 1998/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/8～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立
インドネシア語翻訳・通訳
静岡大学客員教授、専修大学客員講師
独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家
独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー
一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー
一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)講師
一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事
などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの関わりも48年になりました



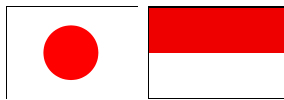
セミナー要旨




- 日本企業が輸出、あるいは現地法人設立により、インドネシア市場で事業を展開する際には、業種により対応の仕方を工夫しなくてはならないのは当然のことです。
- では、どのような業種に対して、どのように対処すべきなのかを考えるに当たり、そのフレームワークが無いと、検討がなかなか理路整然と進まないかもしれません。
- そこでこのセミナーでは、インドネシア政府が定める、[インドネシア事業分類標準\(KBLI\)](#)をベースに、それぞれの業種に対する日本企業の、強み・弱み・機会・脅威からなるSWOT分析を基に、対応の仕方を考えてみます。



目次

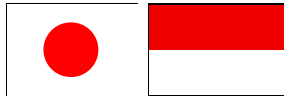


1. 農業
2. 林業
3. 漁業
4. 鉱業
5. 製造業 
6. 電気、ガス
7. 水処理
8. 汚水処理
9. ゴミ処理
10. 建設
11. 大規模小売
12. 運送・倉庫
13. 観光
14. レストラン
15. 情報・通信
16. 金融サービス
17. 保険
18. 不動産
19. リース
20. 教育
21. 医療
22. 芸術・娯楽・リクリエーション

5. 製造業詳細
 - ① 食品産業
 - ② 飲料産業
 - ③ 煙草産業
 - ④ 繊維産業
 - ⑤ 衣料産業
 - ⑥ 皮革産業
 - ⑦ 木材産業
 - ⑧ 製紙産業
 - ⑨ 印刷産業
 - ⑩ 化学産業
 - ⑪ 薬品産業
 - ⑫ 樹脂産業
 - ⑬ 硝子産業
 - ⑭ 金属産業
 - ⑮ コンピューター産業
 - ⑯ 自動車産業
 - ⑰ 家具産業



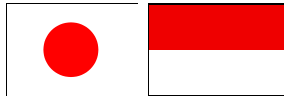
1. 農業



総合評価	機会	脅威
<p>現在のインドネシアは、基本的に農産物は自給自足が実現しているので、輸出産品としての可能性を追求する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豊富で安価であるが品質改良の遅れた現地の果物や野菜 世界13位26,300千haの現地の耕作地面積 年間を通して農作が可能な現地の自然環境 日本の農業分野での技能実習生受入実績 	<ul style="list-style-type: none"> 一次産業から二次・三次産業への現地の急激な労働力のシフト 現地政府による自国産品保護政策 ルピア安による市場価格の高騰
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> 日本の高い品種改良技術による高品質食材の開発 日本の高品質・高機能の農業機械開発製造能力 JICAの長期支援による日本の農業に対する高い信頼感 	<p>高品質な農作物を輸出産品として作る</p>	<p>二次産業としての農業運営で労働力を引き留める</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> 機械化よりも安価な人力に頼る現地の低い生産性 日本での大規模農業の実績欠如 日本での農業人材不足 	<p>現地での事業展開を前提にして技能実習生を教育する</p>	<p>日本からの輸入ではなく、現地生産を前提に事業を進める</p>



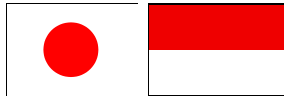
2. 林業



総合評価	機会	脅威
<p>環境保護の下で、原生林の開発に対する制約は厳しくなるのは必須なので、植林事業を優先的に進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内の住宅需要拡大に合わせた、木質建材の需要増大 	<ul style="list-style-type: none"> 大木伐採による原生林の生態系破壊に対する、社会的・政治的圧力
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> 日本の4倍で、世界第8位のインドネシアの森林面積 	<p>現地の南洋材を利用した住宅建材を生産する</p>	<p>再生可能な植林事業とセットにした森林開発を進める</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> 熱帯雨林の広葉樹が主な樹種のインドネシアの森林 原生林での林区開発に必要とされる、多額の資金と人員 	<p>森林開発に実績を持つ現地企業と合弁事業として進める</p>	<p>原生林開発後の植林事業を主とした事業を進める</p>



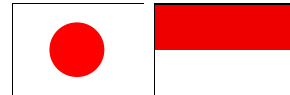
3. 漁業



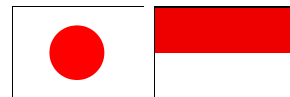
総合評価	機会	脅威
<p>コールドチェーンのインフラ整備で、熱帯の暑さの下での流通網を拡大する</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの広大な沿岸地域を活用した、輸出向け高級魚介類の養殖 インドネシアの中間層を狙った、コールドチェーンを活かした鮮魚の新たな市場開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 中国による領海侵犯と漁場の剥奪
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの約15,000の島嶼からなる広い経済水域 世界第2位のインドネシアの漁獲と養殖の生産高 日本の高品質・高機能の船舶および漁業機器の開発製造能力 インドネシア庶民の食文化に取り入れられた魚介類の食材 	<p>日本のコールドチェーン分野の実績をインドネシアに応用する</p>	<p>洋上での漁よりも沿岸での養殖を優先する</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> 100トン以下の木造船が主体のインドネシアの漁船 中小零細、個人漁師が主体のインドネシアの水産事業 	<p>インドネシア各地で捕れる魚介類を日本のコールドチェーン技術でインドネシア国内市場に流通させる</p>	<p>小型船での漁獲を優先し、大型船での漁を制限する</p>



4. 鉱業



総合評価	機会	脅威
<p>資源の乏しい日本にとって、掘ると何かが出て来るインドネシアは、国レベルでの関係構築と維持が必須である</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数世界3位など、日本において依然として高い二次産業での工業材料の需要 インドネシアで生産されるEV用リチウムイオン電池の他商品への応用 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアは採掘事業に必要な資金・技術のほとんどを欧米や中国に依存 鉱物資源利権を巡る、インドネシア国内での武力闘争
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 天然資源を工業材料に加工するための日本の高度な技術力 リチウムイオン電池の原料となるニッケルのインドネシアの埋蔵量は世界一 インドネシアの石炭埋蔵量は世界第7位 	<p>ニッケルを原料とするリチウムイオン電池の現地生産を進める</p>	<p>現地側の利権と結託した事業展開から、共存共栄の日本式資源開発を進める</p>
弱み	弱みを機会を克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> 日本国内での採掘事業が立ち消えたことによる、その分野での伝承技術の消滅 インドネシアは採掘された天然資源を工業材料にする産業インフラが未整備 	<p>天然資源から工業材料へ加工するプロセスに、積極的に投資して事業を展開する</p>	<p>日本とインドネシアの官民の協力体制で開発を進める</p>

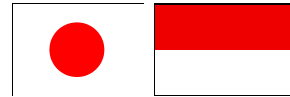


- ① 食品産業
- ② 飲料産業
- ③ 煙草産業
- ④ 繊維産業
- ⑤ 衣料産業
- ⑥ 皮革産業
- ⑦ 木材産業
- ⑧ 製紙産業
- ⑨ 印刷産業
- ⑩ 化学産業
- ⑪ 薬品産業
- ⑫ ゴム産業
- ⑬ 硝子産業
- ⑭ 金属産業
- ⑮ コンピューター産業
- ⑯ 自動車産業
- ⑰ 家具産業

5. 製造業



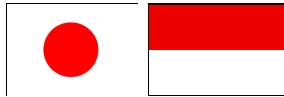
5. 製造業 ①食品産業



総合評価	機会	脅威
<p>インドネシアの食品産業における今後のキーワードはハラール対応とコールドチェーンの運用である</p>	<ul style="list-style-type: none"> 品種改良による寒冷地域の食材の現地生産 インドネシアの食材を活用した、日本食品の現地製造 インドネシアで製造された日本食材の日本への輸出 	<ul style="list-style-type: none"> 安価で粗悪な日本食モドキの出現による風評被害 適正食品認可機関BPOMによる販売差し止め ゴミ問題対策としての食材販売規制
強み	強みを機会で増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 日本食は健康的、衛生的、そして美味しいと言う根強いイメージ 日本食の多くの材料が現地調達可能 インドネシアは穀物、野菜、果実、肉類、魚介類、調味料などの宝庫 	<p>栽培・飼育、加工・製造、販売を一括管理して日本の品質を保証する</p>	<p>BPOMの適正食品認可を取得し、SNIの任意登録も進める</p>
弱み	弱みを機会で克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> 熱帯気候のため、鮮度を保つのが困難 熱帯気候のため、病原菌による食中毒の危険大 寒冷地域の食物は輸入依存 ハラール規制による市場の制約 	<p>ハラール認証を積極的に先行して取得することで差別化を図る</p>	<p>コールドチェーンの運用管理を大々的に広告宣伝する</p>



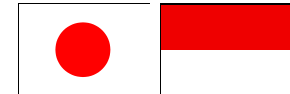
5. 製造業 ②飲料産業



総合評価	機会	脅威
<p>人口は3億人を超えて着実に増加し、経済成長で可処分所得が増え続けるため、市場全体は確実に拡大し続ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康志向の中産階級が急増 高級ショッピングモールでの高価格品の販売 オンライン・ショッピングサイトでの販売 	<ul style="list-style-type: none"> 高価格製品に対する奢侈品税の適用 ゴミ問題対策としてのペットボトル規制 イスラム勢力の圧力によるアルコール飲料の全面禁止
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアは世界第7位の水資源保有国 都市部ではボトルウォーターが一般化 アウトレットとしての多数のコンビニ店舗 インドネシアは茶の生産量世界第7位で日本の約7倍 	<p>安価な現地商品と競合しない高級路線で市場を開拓する</p>	<p>リサイクル可能なガラス瓶、又は紙パックの容器を開発する</p>
弱み	弱みを機会に克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> アルコール飲料はハラム ミネラルウォーターはSNIの対象 盗難の危険で普及しない自動販売機 日本人には甘過ぎる加工飲料 	<p>健康志向の中産階級を対象にした日本人嗜好の商品を開発する</p>	<p>ハラル認証を取得する</p>



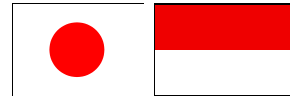
5. 製造業 ③ 煙草産業



総合評価	機会	脅威
<p>6百万人の労働者を抱えるインドネシアの煙草産業を維持しながら、他の産業に転換することが今後の課題と推測される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丁子入り煙草を手放しそうにないインドネシア人の嗜好性 ・ 禁煙者が増加しても、人口増で補う喫煙者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙はハラムとするイスラムの戒律 ・ インドネシア国内でも広がる禁煙空間 ・ 静かに広がる電子タバコの需要
強み	強みを機会で増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアは煙草の生産量世界第4位 ・ 丁子入り煙草製造のインドネシアの巨大グループ企業二社 ・ 丁子入りの煙草を好むインドネシアの国民性 	<p>丁子の風味を保ちながら、ニコチンとタールを制限出来る技術を開発する</p>	<p>ハラル認証が取得出来る電子タバコを開発する</p>
弱み	弱みを機会で克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盗難の危険で普及しない自動販売機 ・ 中部ジャワの安価な人件費に依存している現地の煙草産業 ・ 他の生活必需品に比べて割高な煙草価格 	<p>賃金上昇に備えた、煙草製造装置を提案する</p>	<p>巨大な煙草産業から転換出来る産業を開発する</p>



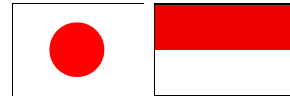
5. 製造業 ④ 繊維産業



総合評価	機会	脅威
<p>従来の事業形態の延長では将来展望が危ういため、ゼロベースで事業戦略を立て直すことが前提となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口増と経済成長の継続に伴う国内需要の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 人件費高騰に伴う廃業や他国への移転 ベトナムなどによる米国市場の奪取
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアは織物繊維輸出額で世界第8位 インドネシアは繊維系・織物輸出額で世界第17位 	<p>安定した国内市場向けを主とし、輸出市場は補足的とする</p>	<p>人件費の安い地域への移転と自動化による人員削減を併行して進める</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> ボイラー燃料としての良質石炭の調達 	<p>効率の良い石炭ボイラー技術を導入する</p>	<p>燃料効率の良い自動化設備の導入を進める</p>



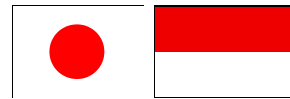
5. 製造業 ⑤衣料産業



総合評価	機会	脅威
<p>中間層の急増に合わせた新たな市場創造が期待される</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口増と経済成長の継続に伴う国内需要の増加 オンラインショッピングによる国内需要の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 中国などからの安価商品の流入 ブランド商品の模造品の流通
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> 世界的なブランド商品のOEM実績 伝統的な染色、織物衣料 	<p>オンラインショッピングで高品質な商品売り出し、新規ブランドを確立する</p>	<p>価格、品質共に、中級品以上の市場にターゲットを絞る</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> 多くが零細、家内工業 国内市場向けのほとんどは安価商品 	<p>零細、家内工業を組合で組織化して、スケールメリットを生かす</p>	<p>零細、家内工業を組合で組織化して、低価格で中級品質の商品を開発する</p>



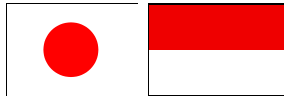
5. 製造業 ⑥皮革産業



総合評価	機会	脅威
<p>天然素材が豊富なインドネシアでしか作れない高級皮革商品を開発する</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアに豊富な鱷、蛇、山羊などの、牛革の他に調達可能な皮素材 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の、動物保護団体からの圧力による捕獲規制
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアは繊維・皮革製品の付加価値輸出額で世界第7位 インドネシアは繊維・皮革製品輸出額の国内付加価値率で世界第16位 インドネシア国内での牛革調達 	<p>各種素材の皮革商品を高品質、高価格で製造する</p>	<p>少量の素材で高付加価値な商品を優先する</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内で未発達の高級皮革製品 未発達な鞣し技術 	<p>現地の素材を活用して、技能人材を育成出来る製造拠点を設立する</p>	<p>高付加価値な輸出産業として、インドネシア政府の支援を受ける</p>



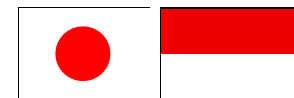
5. 製造業 ⑦木材産業



総合評価	機会	脅威
<p>植林による再生可能な樹種を主体とする加工木材の開発が期待される</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内の住宅需要拡大に合わせた、木質建材の需要増大 合板、各種ボード、集成材などの輸出 	<ul style="list-style-type: none"> 原生林の大木は植林による再生が不可能 原生林伐採の規制による価格上昇
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> 日本の4倍で、世界第8位のインドネシアの森林で伐採される木材 再生可能なゴムの木や綿の木などの植林の普及 川下産業としての大きな家具産業 	<p>様々な木材からなる高品質な加工材を開発する</p>	<p>植林により再生可能な樹種を新たに開発する</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアで取れる木材はほとんどが広葉樹 日本国内で少なくなった木材加工専門家 	<p>インドネシア人の木材専門家を育成する</p>	<p>インドネシア人主体の事業を前提に進める</p>



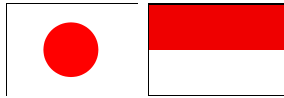
5. 製造業 ⑧製紙産業



総合評価	機会	脅威
<p>素材を樹脂から紙に移行可能な製品の開発が期待される</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境保護に合わせた、生活用品の樹脂から紙への移行 オンラインショッピングの普及に伴う、包装紙の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの普及による紙文化の衰退
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの木材・製紙の付加価値貿易輸出額は世界第7位 インドネシアの木材・製紙の輸出額の国内付加価値率は世界第9位 	<p>再生可能な生活用品や包装紙としての紙を社会にアピールする</p>	<p>新聞、雑誌以外の分野での新規需要を開拓する</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会を克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> 大規模な製紙事業はSinarmasグループの寡占状態 	<p>Sinarmasグループに無い技術を提案する</p>	<p>樹脂から紙に移行可能な素材を探求する</p>



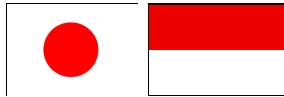
5. 製造業 ⑨印刷産業



総合評価	機会	脅威
<p>インターネットの普及とオンラインショッピングの発達き共存出来る印刷部を開発する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境保護に合わせた、印刷素材の樹脂から紙への移行 オンラインショッピングの普及に伴う、包装紙への印刷の需要拡大 270百万人 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの普及による新聞や雑誌の紙文化の衰退
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> 多くの日用品、飲食品の包装印刷業者、ならびに新聞、雑誌の印刷業者 	<p>樹脂に代わる紙製品への印刷技術を開発する</p>	<p>インターネットを補完する印刷物を開発する</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> 輸入に頼る印刷機械 輸入に頼る高品質印刷紙 輸入に頼る高品質インク 	<p>需要増に合わせて機械、印刷紙、インクの現地生産を進める</p>	<p>インドネシアでの少量の特殊印刷は諦める</p>



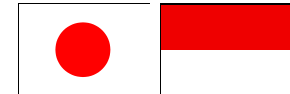
5. 製造業 ⑩化学産業



総合評価	機会	脅威
<p>経済成長に合わせて、住宅、家電、自動車の需要が増え、それに使われる樹脂の需要も増える</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内の住宅需要拡大に合わせた、樹脂建材の需要増大 EV生産拠点に向けた樹脂部品の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> EV生産世界拠点の不実現による巨大需要の喪失
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの化学産業の付加価値額は世界第10位 インドネシアは化学品の原料となる石油がほぼ自足可能 	<p>住宅用樹脂建材を現地で生産する</p>	<p>既存のガソリン車用樹脂部品とEV用樹脂部品の双方を生産する</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内で、石油から化学製品の材料への加工を海外に依存 	<p>インドネシア国内で生産されている樹脂材料で作れる建材を、優先的に現地で生産する</p>	<p>自動車産業の進む方向が確信出来るまで、EV用部品生産には参入しない</p>



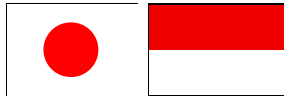
5. 製造業 ⑪薬品産業



総合評価	機会	脅威
<p>経済成長に合わせて、医薬品市場は拡大すると予測され、資金と技術の両面でそれに対応出来る企業が飛躍する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の経験による消毒剤の需要拡大 ・ インドネシアの国民病とも言える糖尿病対策 ・ インドネシアの経済成長に伴う購買力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国などからの違法薬品の薬害による類似製品の販売停止
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアの主要な医薬品製造は国営企業が支配 ・ 国内に遍く点在する薬局 ・ 国民皆保険制度SJSNと保険機関BPJSの整備 	<p>糖尿病対策に有効な、高価格・高品質の医薬品を販売する</p>	<p>適正医薬品製造方法の管理が厳しい現地企業をパートナーに選ぶ</p>
弱み	弱みを機会に克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアの医薬品産業の付加価値額は世界第22位 ・ インドネシアの医療費の対GDP比率は世界第49位 ・ インドネシアの医薬品輸出額は世界第50位 ・ インドネシアの医薬品輸入額は世界第45位 	<p>インドネシア企業との提携あるいはOEMで現地生産を進める</p>	<p>インドネシア国内の需要拡大に対応出来る現地企業をパートナーに選ぶ</p>



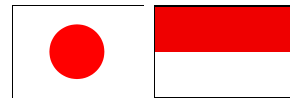
5. 製造業 ⑫ ゴム産業



総合評価	機会	脅威
<p>カリマンタン島内でゴム農園を展開し、天然ゴムでしか出来ない製品を開発する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 首都移転に伴う、カリマンタン島内でのゴム農園開発増 	<ul style="list-style-type: none"> 高収益農作物への転換によるゴム栽培の廃業 合成ゴムの技術開発による利用率の変化
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアはゴムの輸出額で世界第2位 ゴムの木は植林により再生可能 継続的に増加している天然ゴムの生産量 	<p>ゴム園開発運営実績のある現地パートナーとの合併を進める</p>	<p>スケールメリットによる価格競争力を高める</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ゴム農園開発に必要な巨額の資金 	<p>資金力のある現地パートナーとの合併を進める</p>	<p>合成ゴムでは対応出来ない分野の製品を開発する</p>



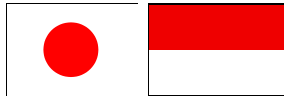
5. 製造業 ⑬硝子産業



総合評価	機会	脅威
ガラス需要の決め手はEVの生産拠点であるが、EV産業の行方に対する安易な楽観論は禁物である	<ul style="list-style-type: none">EV生産拠点化推進に伴う窓ガラスの需要拡大	<ul style="list-style-type: none">プラスチック製品への転換
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none">インドネシアはガラスの原材料が豊富	EV用窓ガラスの供給を進める	スケールメリットによりプラスチックとの価格競争に打ち勝つ
弱み	弱みを機会を克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none">高品質ガラス製品の現地調達は困難	EVに必要な全てのガラス部品を現地で生産する	スケールメリットにより、プラスチック需要からの転換を図る



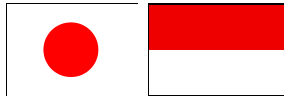
5. 製造業 ⑭ 金属産業



総合評価	機会	脅威
<p>明治以降の日本の産業発展のプロセスを、日本側が積極的に移植することがインドネシア側の期待と思われる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資源から工業材料への加工産業を自国内に取り組む政府の方針 EV生産拠点化推進に伴う金属部品の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 中国・韓国資本によるEV産業支配に合わせた、金属部品産業の中国・韓国資本による支配
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアは鉱物・金属資源輸出額で世界第14位 自動車産業の成長に伴う金属部品の需要増加 	<p>自動車産業の現地化率向上に積極的に協力する</p>	<p>中国、韓国勢が持たない技術分野で優位に立つ</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> 資源から工業材料に加工する産業の外国依存 	<p>インドネシア政府による工業材料の現地化に積極的に協力する</p>	<p>中国、韓国勢に先立って工業材料の現地化に積極的に協力する</p>



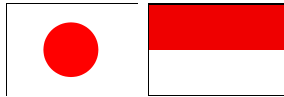
5. 製造業 ⑮コンピューター産業



総合評価	機会	脅威
<p>インドネシアでのビジネスシーンはパソコンではなく、スマホで処理が普通になりつつある</p>	<ul style="list-style-type: none"> EC産業の拡大に伴うコンピューター関連機器の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ブロードバンドの普及の遅れによる、主体がパソコンではなくスマホへの顕著化
<p>強み</p>	<p>強みを機会を増幅する</p>	<p>強みで脅威を弱める</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアのオフィス機器・コンピューター輸入額は世界第20位 	<p>インドネシア社会や市場に合ったソフトウェアを開発する</p>	<p>スマートフォンで代替可能な業務ソフトを開発する</p>
<p>弱み</p>	<p>弱みを機会を克服する</p>	<p>弱みと脅威の危険を避ける</p>
<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内での技術開発や製造実績は皆無 世界的なソフトウェアでインドネシア語のものは皆無 	<p>英語からインドネシア語への自動変換可能なソフトウェアを開発する</p>	<p>スマートフォンで代替可能なインドネシア語の業務ソフトを開発する</p>



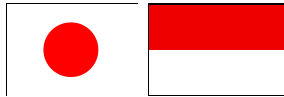
5. 製造業 ①6 自動車産業



総合評価	機会	脅威
<p>インドネシアはガソリン車の日本と電気自動車の中国との、代理戦争の場となりつつあることを前提に戦略を練る</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 拡大する中間層向けのLCGC (Low Cost Green Car) の市場拡大 • EVの世界供給拠点化 • 環境対策としてのHV市場の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> • 大気汚染対策としての排気ガス規制 • EV普及に伴う韓国・中国車による自動車市場の支配
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> • インドネシアは自動車生産台数で世界第11位 • インドネシアの自動車販売数の90%以上は日本車 • インドネシアの自動二輪の販売台数のほとんどは日本車 	<p>環境対策と性能に優れたリッターカーで中間層の市場を支配する</p>	<p>日本で実績のある環境対策技術を導入する</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> • インドネシアでの現地生産比率はまだ60%前後 • インドネシアへの完成車の輸入に課される高い奢侈品税(10%~100%) 	<p>日本の中小企業との合併で、裾野産業の中小零細企業を育成して、現地化比率を高める</p>	<p>発電所も含めたトータルの化石燃料消費において、ガソリン車の方が優位であることを実証する</p>



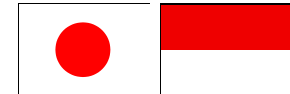
5. 製造業 ⑰家具産業



総合評価	機会	脅威
<p>自然に生えている森林を前提にした材料調達から、人口的に作り出せる材料を全体とした家具作りが期待される</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内の新築住宅需要拡大に合わせた家庭用家具の需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 環境対策としての森林保護規制による木材の調達制限
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの森林面積は世界第8位 インドネシアの豊富な南洋広葉樹資源 再生可能なゴムの木や綿の木などの植林の普及 	<p>丸太から家具までの全工程での、廃棄率を最小にする製材技術を開発し活用する</p>	<p>植林により再生可能な木材の活用技術を開発する</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアで生育出来ない北洋針葉樹 インドネシアの高温多湿の中で加工処理された木材の、寒冷地での品質劣化 	<p>集成材などの技術開発で、経年変化や環境による変化の少ない材質を開発する</p>	<p>植林により再生可能で、経年変化や環境での変化が少ない材質を開発する</p>



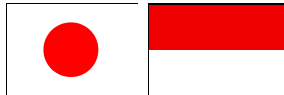
6. 電気・ガス



総合評価	機会	脅威
<p>世界最大の島嶼国家の中で、エネルギー需給の最適なシステムを考慮したビジネスが求められる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアの地熱発電に適した多くの活火山 ・ インドネシアの年間を通して安定して多い日照時間 ・ インドネシアの遠隔地・僻地における無通電状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野放図な太陽光発電ビジネスによる大規模な自然破壊 ・ EVの本格普及による電力需給バランスの崩壊 ・ インドネシア政府が再生可能エネルギーに補助金を出すか不明
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の安定した電力供給のための高い技術力 ・ 日本のCO2の発生を抑える火力発電技術 ・ 日本の火力、水力、原子力、風力、太陽光、地熱など、様々な発電技術の蓄積 ・ インドネシアの豊富な埋蔵量の石炭および天然ガス 	<p>日本での失敗経験と問題解決能力を活かした、再生可能エネルギーによる発電事業を進める</p>	<p>インドネシアの自然環境を破壊しないことを前提とした太陽光発電事業を進める</p>
弱み	弱みを機会に克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアの国内全体の電力供給能力不足による計画停電 ・ インドネシアの需要ピーク時の電圧降下など不安定な電力供給 ・ インドネシアの化石燃料火力発電に偏重した電力供給 	<p>日照時間が安定しているインドネシアの気象条件を活かした、環境問題に配慮した太陽光発電ビジネスを進める</p>	<p>自然保護と需要対応を両立させるための、発電地点と受電地点を結ぶ送電技術を開発する</p>



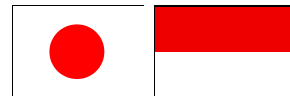
7. 水処理



総合評価	機会	脅威
<p>都市部でのボトルウォーター市場は過当競争気味になりつつあるが、僻地や田舎の生活環境改善への貢献が期待される</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水道の行き渡らない田舎や僻地では、未だに井戸水や雨水を利用 都市部ではボトル飲料水が普及 	<ul style="list-style-type: none"> ミネラルウォーターに対して義務付けられるハラル認証、SNI認証、BPOM認可と、それぞれの定期監査
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 日本は世界でも少ない直接飲める水道水を供給 インドネシアの水質資源は世界第7位で日本の約5倍 	<p>政府間プロジェクトとして、僻地での水道インフラ整備事業を進める</p>	<p>水道水を直接飲めるための産業用浄水機器を普及させる</p>
弱み	弱みを機会で克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの水道水は直接飲用が不可 	<p>政府間プロジェクトとして、現地の水源から飲料水を確保するための事業を進める</p>	<p>水道水を直接飲めるための家庭用浄水機器を普及させる</p>



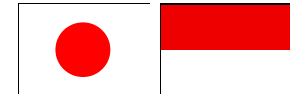
8. 汚水処理



総合評価	機会	脅威
首都移転を下水処理インフラ見直しの好機として活用する	<ul style="list-style-type: none">急速に開発が進む新都市での下水処理インフラ整備	<ul style="list-style-type: none">無くならない工場排水による河川の汚染事件首都移転によるジャカルタの汚染問題放置
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none">古い歴史を持つ、日本の高度な汚水処理技術日本と同等の厳しさのインドネシアの汚水処理に対する環境保護法	都市開発のデベロッパーと業務提携などの形で下水処理インフラ整備事業を展開する	新首都で理想的な下水処理インフラを見本として実現する
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none">実際には徹底されていない、インドネシアの汚水対策インドネシアの都市部でもほとんど普及していない下水処理インフラ	日本並みの下水処理インフラが整備されていることを、不動産ビジネスの宣伝に活用する	首都移転による効果を証明するために、ジャカルタの生活環境改善が重要であることをインドネシア政府に訴える



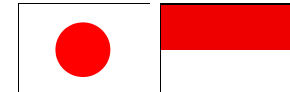
9. ゴミ処理



総合評価	機会	脅威
<p>現在の生活ゴミ問題を解決するには、再利用技術だけでなく、それに必要な財源の確保手段も提案しなくてはならない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 首都ジャカルタから排出される、毎日7千トンの生活ゴミの再利用 	<ul style="list-style-type: none"> 収容能力を超えつつある、都市部のゴミ集積地 河川への不法投棄が引き起こす都市部の大洪水
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 日本社会に根付いているゴミ処理の習慣 ゴミを肥料や燃料に変える日本の技術 	<p>政府間の国家プロジェクトとして、ゴミ再処理事業を展開する</p>	<p>ゴミ集積場近くで再処理工場を建設する</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> 責任を持つ地方政府のゴミ処理対策予算の欠如 ゴミ処分に対する国民の責任感の低さ 	<p>ゴミ再処理課税などで地方政府の財源を確保する</p>	<p>ゴミの原因となる商品の販売価格にゴミ再利用補助金税を賦課する</p>



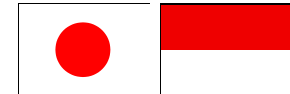
10.建設



総合評価	機会	脅威
耐震技術や高品質な高速道路建設技術を基に、生涯コストのメリットをアピールする	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアにおける長期的な高度経済成長をベースにした、積極的な建設投資 首都移転に伴う、全国的な建築物の建て替え 	<ul style="list-style-type: none"> 中国の一帶一路政策に取り込まれ易いインドネシア政府の汚職体質 地震により大損害を受ける危険性が高いインドネシアの建物
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 日本の耐震構造の建築分野での高い技術力と実績 日本の質の高い道路建設 日系のゼネコンとの合併で実力を付けたインドネシアの建設業界 	新首都の長期的な建設需要に対し、耐震技術を積極的に売り込む	ジャカルタの高層ビルの耐震化工事を請け負う
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> 日本の長期に渡り停滞した公共事業投資による、建設業界の疲弊と人材の枯渇 インドネシア現地業者の低い道路建設技術による早期および頻繁に発生する補修工事 	日本の将来の建設需要に備え、インドネシアの現場で日本人の技術人材を育成する	インドネシア人技術者に耐震技術を積極的に供与する



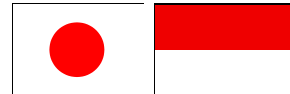
11.大規模小売



総合評価	機会	脅威
<p>急成長する中間層を狙い、特に高級ショッピングモールでの販売に力を注ぐ</p>	<ul style="list-style-type: none"> GDPの6割を占め、成長を続ける国内消費市場 日本ブランドに対する信頼と憧れ 	<ul style="list-style-type: none"> 小売分野の外資への開放による競争激化 HALAL, SNI, BPOMなどの煩雑で費用と時間のかかる販売許認可制度
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 世界的な小売業としてのイオン(売上11位)およびセブン&アイ・ホールディングス(売上13位) 世界的な小売業であるカルフル(仏・売上2位)、メトロ(独/売上4位)、イオン(日・11位)の拠点展開 	<p>大型高級店において、現地生産の日本ブランド商品を販売する</p>	<p>HALAL, SNI, BPOMなどを率先して取得して、他のブランドとの差別化を図る</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ローカルコンビニ2社の市場独占状態に太刀打ち出来ない日本のコンビニ インドネシアのコンビニで売れるのは単価USD2.00以下の商品 	<p>コンビニ店舗において、現地生産の日本ブランド商品を販売する</p>	<p>HALAL, SNI, BPOMなどを率先して取得して、他のブランドとの差別化を図る</p>



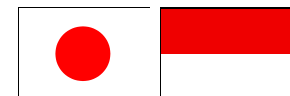
12. 運送・倉庫



総合評価	機会	脅威
<p>インドネシア国内の運送会社、トラック架装会社、バイク配送会社などと協力して、日本での宅配システムをインドネシア国内に移植する</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの経済成長に合わせて拡張が進む高速道路と高速鉄道 急増する中間層の生活パターンに必要なコールドチェーン 	<ul style="list-style-type: none"> 中国の一帶一路計画の下での、インドネシア国内の流通インフラの支配 首都移転に伴う、インドネシア国内の流通網の変革と再編成
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 日本の正確で迅速、且つ割安な宅急便配送システム インドネシアでのバイクタクシーの宅配代行によるラストワンマイルの問題解消 	<p>拠店倉庫間の大型トラック輸送と、バイク配送を組み合わせた、統合的なコールドチェーンを構築する</p>	<p>日本国内で培われた宅配システムを、インドネシア国内で展開する</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアのコールドチェーンに対応する大型冷蔵・冷凍運搬車の不足 インドネシアの国土の広さの割に少ない鉄道貨物輸送量(インドの2%) インドネシアの遅くて割高な宅急便 	<p>インドネシアのトラック架装会社と、大型冷凍・冷蔵トラック製造の合併事業を展開する</p>	<p>日本国内で培われた宅配便のコールドチェーンをインドネシア国内で展開する</p>



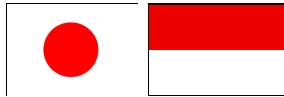
13.観光



総合評価	機会	脅威
<p>インドネシアには無限の観光資源が眠っているが、自然保護と快適な滞在環境が開発の前提となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの観光ホテル誘致可能な数多くの観光資源 	<ul style="list-style-type: none"> 自然破壊を理由とした、観光地開発の規制
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 世界中から評価される日本のおもてなし文化 世界最高の日本のトイレ文化 	<p>既設あるいは新設のホテルに日本の接客マナーと、トイレ文化を導入する</p>	<p>観光ホテルのうんえいに、日本での環境対策を取り入れる</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの未発達で不便な遠隔地への移動手段 インドネシアの治安および衛生面で不安な低価格帯ホテル 	<p>飛行機あるいは船のチャーター便とセットにした観光ホテルを運営する</p>	<p>都会から隔離された不便さと、自然のままの滞在環境を売り物にする</p>



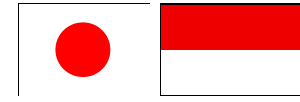
14. レストラン



総合評価	機会	脅威
これからの外食産業は、ハラール対応、衛生的、健康的の三つを謳い文句とする	<ul style="list-style-type: none">・ 庶民には高根の花である日本食・ インドネシアの熱帯気候を背景とした、外食文化の普及	<ul style="list-style-type: none">・ インドネシアで2024年から始まるハラール認証の規制強化・ インドネシアの中国からの投資ブームに伴う中華料理の席捲
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none">・ 日本食は健康、味、見た目で世界のトップクラス・ インドネシアの豊富な熱帯の果実	手軽で安価な外食向けの日本食を普及させる	日本食は健康面で良いことを前面に押し出す
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none">・ 本格的なハラール対応が難しい日本食文化・ インドネシアの衛生面での問題を抱える屋台や露店での外食産業	ハラール対応で衛生的な日本食を提供する	屋台でも衛生的に提供出来る日本食を開発する



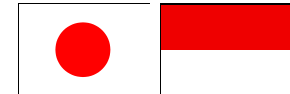
15.情報・通信



総合評価	機会	脅威
<p>コロナ禍の中で急激に普及したオンラインやリモートビジネスは、今後益々拡大することを前提にビジネスを組み立てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアで急成長を続けるECビジネス ・ コロナ禍以降の世界的なリモートビジネスの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシア政府による情報統制の強化傾向 ・ ソフト・ハード両面でのアメリカ・中国依存
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアは世界第3位の携帯電話契約者数(366百人) ・ インドネシアでの格安携帯電話の普及 	<p>ECビジネスとリモートビジネスのインフラを最大限活用する</p>	<p>ユーザーとして、サイバーセキュリティについての意識を高めるサービスを提供する</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外で使えない、しかも高額な日本の携帯電話 ・ インドネシアの不安定なインターネット回線 	<p>インドネシアの機器利用を前提としたビジネスを運用する</p>	<p>容量の小さい回線でのリモートビジネスが可能なサービスを開発する</p>



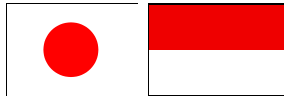
16.金融サービス



総合評価	機会	脅威
<p>現在は安定していても、突然のルピア危機に際しても、リスクを緩和出来るドルでの保証を確保しておく</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 拡大するイスラム金融 • オンライン投資信託の拡大 • ECの急成長に合わせて拡大する電子決済サービス 	<ul style="list-style-type: none"> • インドネシアの貯蓄残高の3/4近くを占める非金融機関 • Rp.15,000/USDを超えたインドネシア国内通貨のデノミネーション
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> • インドネシアの2004年以降の経済成長と安定した政治を背景とする安定的な外国為替 	<p>電子決済サービスを活用した取引を実現させる</p>	<p>国内取引であっても、大口案件はドル建てで契約する</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> • 5%前後の公定歩合を背景にした、8%~10%と高めのインドネシア国内の貸出金利 • ルピアに限定された国内取引決済 	<p>ドル預金を担保にして、ルピア建ての借入金利を下げる</p>	<p>余剰金は外国資本銀行のドル建てで預金する</p>



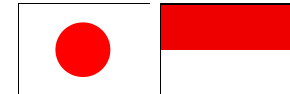
17. 保険



総合評価	機会	脅威
<p>現在の経済成長が続くと、インドネシアは間違いなく大きな保険市場として成長する</p>	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの中間層の急成長に伴う生命保険市場の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 保険会社の経営破綻による社会の混乱
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 政府による国民皆保険制度の整備 	<p>富裕層向けの手厚いサービスを提供する</p>	<p>資金力のある外資保険会社と提携したサービスを提供する</p>
弱み	弱みを機会を克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> 国営の社会保険機関BPJSの制度だけでは足りない補償金額 	<p>国の保険制度を補う形での保険サービスを展開する</p>	<p>小口の保険を主体に販売する</p>



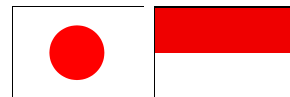
18.不動産



総合評価	機会	脅威
<p>新首都建設をモデルとして、他地域での開発も活発になる可能性がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> 首都移転に伴う大規模な不動産開発事業 ジャワ島横断高速鉄道の開通に向けた、全く新しい不動産開発の可能性 経済成長率5%での毎年250万軒の新築戸建 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な中国資本の投入による不動産バブルの危険性 金利値上げによる住宅ローンの返済不履行 不動産開発許認可に絡む大規模汚職
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 大財閥主導の豊富な資金力と政治力を背景とした、大規模な不動産開発 	<p>日本の大都市私鉄沿線の都市開発を参考にした事業を展開する</p>	<p>現地の財閥資本を主体としたプロジェクトを進める</p>
弱み	弱みを機会に克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ジャワ島内の都市圏に集中している不動産開発投資 	<p>新首都に絡む様々な不動産開発に注目する</p>	<p>ジャワ島外での不動産開発事業は、現地側の資本を主体としたプロジェクトを進める</p>



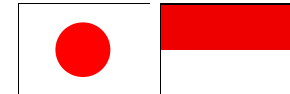
19.リース



総合評価	機会	脅威
日本の中小企業がインドネシアに進出する際の壁である、最低投資額100億ルピアの負担軽減を工夫する	<ul style="list-style-type: none">外国資本会社設立条件の最低投資額100億ルピアで調達された設備機械の、リース買取り契約による日本の中小企業の資金負担軽減	<ul style="list-style-type: none">国際情勢によるルピア金利と対ドル為替レート的大幅変動
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none">インドネシア会社法に基づき、総資産額の3/4までは負債で調達可能	日本の低金利で調達した親子ローンで設備機械を取得した後に、現地のリース会社を買取ってもらい、親子ローンを返済する	固定資産の為替評価損を、負債額評価源に変える
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none">長期的なドルに対するルピア安傾向インドネシアの銀行の貸出金利高に合わせた高利息	長期的なルピア安を見越して、設備機械をリースに切り替え、運転資金に必要な借入金を減らして負債総額を抑える	ルピア建てのみで契約する



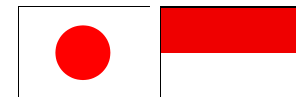
20.教育



総合評価	機会	脅威
<p>教育の基盤である言語のインドネシア語を、マレー語の応用レベルから、インドネシア人のオリジナル言語にレベルアップさせることが求められる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドネシアの就職活動に有利な英語、日本語、中国語などの外国語学習の需要拡大 ・ インドネシアの慢性的に高い失業率を背景とする、資格取得に対する高い需要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優秀なインドネシア人学生の海外留学後の、継続滞在による人材流出 ・ 専門分野での英語の普及による、インドネシア語の発達阻害
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本とほぼ同じ就学年制度 ・ 100%就学に近付きつつあるインドネシアの小中学校の義務教育 	<p>日本語を高校以降の必修科目にすべく、教材と資金を提供する</p>	<p>インドネシアの17世紀以降の近現代史を学ばせて、若者に国家感を植え付ける</p>
弱み	弱みを機会克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門分野において表現力に乏しいインドネシア語 ・ 実力よりも肩書や資格を優先するインドネシアの国民性 ・ インドネシアの国家予算に占める乏しい教育予算 	<p>高度な専門分野での日本語資格試験を導入する</p>	<p>専門用語のカタカナ英語ではない日本語とインドネシア語の対比表現を普及させる</p>



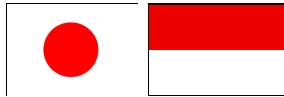
21.医療



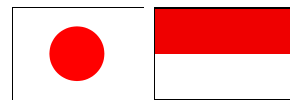
総合評価	機会	脅威
<p>インドネシア国民は元々衛生観念が低いので、コロナ禍の記憶が残っている間に啓蒙活動を展開する</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 末端の隣保班まで組織化された地方自治制度を背景にした公共の医療サービス • コロナ禍で全国民が実感した衛生管理の重要性 	<ul style="list-style-type: none"> • インドネシア国内に蔓延する熱帯特有の病気 • 大都市での慢性的な大気汚染と水質汚染
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> • 日本の世界トップクラスの医療レベルと衛生管理レベル • インドネシアの一日5回のイスラム礼拝の習慣による衛生状態の維持 	<p>日常の手洗い、消毒、うがいを習慣化するための指導やサービスを展開する</p>	<p>家庭用の空気清浄機、浄水器を現地製造により安価で提供する</p>
弱み	弱みを機会で克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> • インドネシアの低い医療レベルと緊急医療インフラ • インドネシア国民の間の、経済格差に伴う医療レベルの格差 	<p>所得層別の日常の手洗い、消毒、うがいを習慣化するための指導やサービスを、高・中・低の三段階で展開する</p>	<p>日本で行われている、幼稚園、小学校での衛生習慣の躰を導入する</p>



22. 芸術・娯楽・リクリエーション



総合評価	機会	脅威
<p>昨今の日本は政治面や経済面では弱体化しているが、スポーツ界では世界先端レベルにある</p>	<ul style="list-style-type: none"> マスメディアやSNSを通じた、インドネシア文化の拡散 	<ul style="list-style-type: none"> インドネシア国内のSNSを活用したオンライン賭博
強み	強みを機会を増幅する	強みで脅威を弱める
<ul style="list-style-type: none"> 日本には野球、サッカー、大相撲など、世界レベルで、かつ国民の間に広く浸透しているスポーツ インドネシア国内の手軽に行ける多くの海浜公園 サッカー、バドミントンなどインドネシア国民の間に広く浸透しているスポーツ 	<p>日本の野球、サッカー、ラグビーなどを世界的なレベルに育て上げたノウハウをインドネシアで展開する</p>	<p>サッカーや野球など共通のスポーツ界での人材の交流を推進する</p>
弱み	弱みを機会に克服する	弱みと脅威の危険を避ける
<ul style="list-style-type: none"> イスラムの戒律による制約 世界に向けて発信努力不足なインドネシア文化 	<p>イスラム世界での文化発信のリーダー的存在となるべく支援する</p>	<p>BBCやCNN、そしてSNSと言った世界中に拡散出来るメディアを活用してインドネシア文化を伝える</p>



インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト(Googleトップランキング)

<https://www.hmkt.jp/>

インドネシア最新情報ブログ

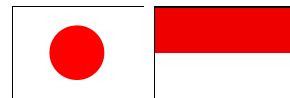
あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

<http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/>

インドネシア進出サポートウェブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

<https://www.youtube.com/channel/UCXghuRz7zRX5jLOXu75rQjQ>



ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です